

# 令和6年度政策形成実践研修（短期集中研究会） 事業提言書

グループ名： A

<b>1. 事業名</b>	
ひらたファンクラブ獲得事業	
<b>2. 事業目的</b>	
<p>目的の異なる3種類のSNSを開設・活用・発信を行うことで、移住・定住への試金石となる各種取り組みを行って交流人口の拡大を目指す。</p> <p>○Instagram ジュピアランドひらたを中心にInstagramで村内外へ情報発信したり、イベントを開催することで、主に若年女性に興味を持ってもらい、交流人口の増加を図る。</p> <p>○X 平田村で最も魅力のある『激辛』をX(旧Twitter)で村内外へ発信し、人口交流増加を図る。</p> <p>○LINE 平田村の生活及びイベント等に関する情報を村内外の人間に向け発信し、住民の利便性向上及びファン獲得による交流人口の更なる増加につなげる。</p>	
<b>3. 事業概要</b>	
<b>① 現 状</b>	<p>○Instagram ・ジュピアランドひらたや日常風景の写真を投稿しコメントを添える形である。</p> <p>○X ・平田村の魅力である「激辛」は役場では発信していない。 ・情報発信する職員数不足が顕著である。</p> <p>○LINE ・村公式LINEが整備されていない。 ・各種事業の周知が十分ではない。</p>
<b>② 課 題</b>	<p>・既存のSNSについては、若年女性や若年層に情報発信が図れていない。</p> <p>・SNSを通して観光客向けの施策が必要となる。</p> <p>・村からの情報発信能力が不足しており、村民にとっては利便性に欠け、村外の人間からはそもそも平田村が認知されにくい状況。</p>

<p>③ 事業内容 (対象)</p>	<p>Instagram : 20代~30代の若年女性 X : 20代~30代の男女 LINE : 村内在住者及び村外在住で平田村に興味のある者</p>
<p>④ 事業内容 (手段)</p>	<p>○Instagram ・女性に対してウケのよい景色や観光スポット（可愛い・美しい・エモい）の投稿をメインに行う。 ・Instagram内でフォトコンテストを開催する。入賞者には賞品あり。 ・Instagram内でハッシュタグキャンペーン #こころいろどるひらたを開催する。 ・Instagramをフォローしている、してくれた方に対し、優遇措置を実施する。</p> <p>○X ・激辛チャレンジ ・地域おこし協力隊に職員ではできない分野の協力隊を募集する。</p> <p>○LINE ・内向け／外向けの情報発信力を強化する。 ・村外在住者への積極的な情報発信を展開し、交流人口→関係人口へのステップアップの足掛かりとする。</p>
<p>⑤ 成果目標</p>	<p>村公式 SNS (LINE・X・Instagram) 令和7年度末目標フォロー計5,000人 令和7年度末でLINE1,000人、X2,000人、Instagram2,000人とする。</p>
<p>⑥ 事業実施の メリット</p>	<p>○Instagram ・利用率が高い若年女性へ積極的な情報発信が可能</p> <p>○X ・TVの取材や辛い物の特集も期待されることで他市町村には真似できないオリジナルをPRでき、外部からの注目度の向上が見込まれる。</p> <p>○LINE 発信者（村）側のメリット ・定期的なイベント情報等の発信による来村者のリピーター化。 ・村の住宅取得補助や子育て施策等の移住に関する情報がより広範囲に届き、村内外からのファン獲得につながる。</p> <p>受け手側のメリット ・暮らしの情報等の発信がより細やかになることによる利便性向上。（村内）</p>

<p>⑦ 現 行 事 業 と の 比 較</p>	<p>○Instagram ・現在運用中の Instagram アカウントでも、ジュピアランドひらたの芝桜やあじさい、ゆりを投稿しているため継続して投稿していくことになる。しかし、今までよりも「可愛い・美しい・エモい」に注力した投稿をメインにする。 ・フォトコンテスト、ハッシュタグキャンペーンの実施は新規事業である。</p> <p>○X 今まで投稿したことのない「激辛」をメインに投稿する。</p> <p>○LINE 現状平田村では公式 LINE を運用していない。現状の体制では情報発信が十分とはいえず、LINE の導入により既存 SNS との連携等により発信力の強化が見込まれる。</p>
<p>⑧ 他 自 治 体 の 導 入 事 例</p>	<p>○Instagram ・南丹市（#南丹市フォトコン 2024） 賞品：商品券 ・恵那市（#私の好きな恵那） 賞品：市内特産品 ・#リアルアキタ（【秋田県公式】“秋田暮らし”） 賞品：秋田牛 ・#浴衣でまえばし 2024（前橋市） 賞品：浴衣、ホテルペアチケット等</p> <p>○X ・群馬県高崎市 フォロワー数約 1.9 万人。イベント情報や高崎市の PR 動画をメインに情報発信。移住促進のポイントとしては動画での発信に力を入れている。</p> <p>○LINE 災害情報やイベント情報の発信のほか、窓口での手続き方法やごみの収集日などの暮らしの情報を得ることができる。</p>
<p>⑨ 事 業 効 果 の 検 証 方 法</p>	<p>○Instagram ・事業実施により Instagram フォロワー数がどのように変化したか調べる。（事業実施の時期にフォロワー数が増えているか、どの年代、性別の層が増えているか）</p> <p>○X ・X のフォロワー数、動画再生回数、リポスト、いいね数がどのように変化したか調べる。 ・激辛チャレンジャーにアンケート調査</p> <p>○LINE ・LINE 友だち登録者数 ・イベント来場者数 ・満足度アンケート</p>
<p>4. 実施主体</p>	
<p>平田村役場 企画商工課 平田村役場 企画商工課 （地域おこし協力隊） 一般財団法人平田村産業振興公社 道の駅 ひらた</p>	

## 5. 実施スケジュール

### ○Instagram

- 令和6年度 普段の投稿を若年女性に向けた内容へシフト  
 施策概要（フォトコンテスト、ハッシュタグキャンペーンの賞品や実施計画、  
 フォロワーに対する優遇措置の内容）の確定
- 令和7年度 フォトコンテストの実施

### ○X

- 令和6年度 投稿内容を辛い中心に発信（チャレンジ動画等）  
 激辛チャレンジの概要の確定（商品や、チャレンジメニュー等の施策）  
 協力隊の募集（チャレンジメニューやX投稿など職員ではできない分野）
- 令和7年度 投稿内容を辛い中心に発信（チャレンジ動画等）継続  
 激辛チャレンジの実施

### ○LINE

- 令和6年度 平田村公式LINEの整備  
 公式LINE周知、登録者確保→村HP、広報誌等による周知  
 情報発信（村内／村外）→セグメント別に生活情報、イベント情報等の発信
- 令和7年度 公式LINE周知、登録者確保 ※継続  
 情報発信（村内／村外） ※継続

## 6. 予算概要

① 事業費	計 770万円
	Instagram 委託料（賞品、広告費、選考事務等） 150万円 X 地域おこし協力隊 人件費等 520万円 LINE 100万円程度（公式LINE導入）
② 財源	一般財源：125万円
	Instagram 県補助金 75万円（サポート事業：補助率1/2）
	X 特別交付税 520万円（100%） LINE デジ田交付金（デジタル実装タイプ） 50万円（補助率1/2）